(1) 平成 27 年 8 月 第 137 号





除幕式の様子

#### ボランティアによる郷土の森の環境整備

#### 「熱田白鳥の歴史館」木製看板の設置

主な項目	○ 夏休み!子どもふれあいDAYを開催!P2 ○ 各地からのたよりP3
	○ 合地が500/2より ····································
	○ シリーズ「ご当地自慢」······P10

# ふれあいロAY」を開催

より盛大に開催し、近隣の小学生を中心 森林整備センター中部整備局との共催に 野県と国立研究開発法人森林総合研究所 み!子どもふれあいDAY」を開催しま を知ってもらうことを目的とした「夏休 に五七七名の方が来局されました。 管理局において地域の子どもたちを対象 した。三回目の開催となった今回は、 [企画調整課] 国有林の役割をはじめ、 森林・林業・自然の大切さ等 七月三十一日、 中部森林 長

探知機で宝さがし!」「ジェットシュー ターで山火事を消して!」、「ベビーイス 木いろいろ丸太切り」「マイ箸づくり」 「森の素材でネイチャークラフト」「金属 今年の体験メニューは、当局の 竹竹





嘆の声を上げていました。 まった箱の中に隠れた景品を探知機で探 作に取り組んでいました。「金属探知機 は不動の人気を博し、皆さん熱心に製 加わりました。「竹木いろいろ丸太切り ら「葉っぱのしおり作り」のコーナーが 合研究所森林整備センター中部整備局か ジ寄せ書き」、国立研究開発法人森林総 ターカバー作製、のぼり旗へのメッセー 全国植樹祭会場に設置予定の木製プラン 製作」、シールラリー形式の「森林管理 すイベントですが、 で宝さがし!」は、一面、 局クエスト2」に、長野県から「来年度 機器の感知能力に感 かんな屑が詰

コーナーでは、 からは驚嘆の声が上がっていました。 ー等が登場する仕掛けがあり、参加者 山火事消火用のジェットシューターの が倒れると裏面には人気キャラク 炎に模した的当てを行

> 貼ってゴールしました。 用される樹木かを当て、 差しで聞き入り、 木の利用方法の共通点を見出し、 ルを担当者が説明すると、 「森林管理局クエスト2」では、 台紙横 各ポイントにおいて樹 一列に並んだ樹 正解シールを 真剣な眼 何に利

で作品等に焼き印を押していました。 印」に参加できる回数が増える仕組みと なっており、子どもたちは興奮した様子 ゴールでは得点により、 新企画 「焼き

物そっくりのシカのデコイに驚いていま 紹介したコーナーでは、子どもたちが本 気でした。ニホンジカによる森林被害を 葉樹名を記してある積木も採用し、大人 したブロック)」に加え、幾種類もの広 「アースブロック(カラマツ繊維を使用 ゙ヒノキ玉プール」「カンナ屑プール」、 また、昨年も幼児などに好評であった

のベビーイスの製作もあり、 を試す楽しいコーナーとなりました。 このほか、くじ引きによる参加者限定 「運と実力」

な一日でした。 大切さ・木の良さ等をPRできた有意義 国有林はもとより、 加して満足です。」 林管理局のことがよくわかりました。 ら作ったり、 てください。」「配布された小冊子で、 とても楽しかったです、 参加者からは、 探したりしながらできた。」 「木のことを知りなが 一等の感想が寄せられ 山の楽しさ・森林の 来年も開催し 参 森

> として開催し、 同組合様にご協力をいただきました。 井産業㈱·有賀建具店·木曽官材市売協 六十七回全国植樹祭ながの応援イベント らの国民の祝日「全国山の日」および第 の紙面をお借りし厚く御礼申し上げま 平成二十八年八月十一日 日本郵便㈱信越支社·酒

## ボランティアによる環境整備

### 熱田白鳥の歴史館 周辺を!

示コーナーを昨年四月に開設しました。 を図ることを目的として施設の一部に展 の歴史を学び、国産材の普及・利用促進 [**名古屋事務所**] 名古屋事務所では林業

されています。 生涯学習施設として地域の皆さんに利用 と命名して展示物の更なる充実を図り、 本年四月からは「熱田白鳥の歴史館

らい、近寄り難いイメージがある」と が課題となっていました。 る来館者から「どこにあるのか分かり いった意見が寄せられており、 同施設は「郷土の森」に隣接し、 訪

連携して 協会(以下、 模索されており、 スト・ サポーターズ活動の取り組みを 社団法人として設立して今年でちょうど 五〇年の節目を迎えるにあたり、 こうした中、(一社)名古屋林業土木 「郷土の森」の剪定など周辺の 同協会) 同館を案内する駐車場入口 今般、名古屋事務所と は、 昭和四十年に フォ

への木製看板の設置を行うこととなりま

ンプカー二台、 高所作業車、 同協会愛知支部の会員の方々十四名が い明るい森へと変わっていきました。切 などを進め、 木化したクスノキの剪定、枯れ木の伐採 し、日頃の技術をいかんなく発揮し、 「郷土の森」の整備は、 みるみるうちに風通しの良 クレーン付きトラック、ダ チェンソーなどを搬入 去る七月八日 大



環境整備前の郷土の森

看板設置と環境整備後の状況

大会議室において「第五十四回高山植物 第五十四回高山 保護対策協議会総会を開催 ·**保全課**] 七月十六日、中部森林管理局

り落とした枝は、燃料として活用される ほか、「郷土の森」の林内で計画してい る木工教室で、 こととしています。 丸太切りなどに活用する

された後、 ラスコーティングを下呂市内において施 岐阜県付知町内で、腐朽防止のためのガ 所で所有していた木曽ヒノキの板を用 入口のヒノキ間伐材壁面に設置されまし 「木製看板」については、 文字の構成、表面研磨、 七月二十二日に展示館駐車場 名古屋事務 文字彫りを

役らをはじめ同協会役員の方々をお招き して看板の除幕式を執り行いました。 管理事務所川島大次所長、スローフード 涯学習センター鵜飼裕樹館長、白鳥庭園 レストラン白鳥物語大島嘉月代代表取締 次熱田区長はじめ近隣の名古屋市熱田牛 七月二十四日には、名古屋市の浅井慎

熱田区長からは 取り組みに感謝の挨拶がされた後、浅井 ろいろな機会を捉え、連携してPRして 向け発展していくことが大切、 の地としての歴史紹介と今般の連携した いきましょう」と祝辞の言葉が述べられ 式典では、河野所長から木材産業発祥 「歴史を知る中で将来に 今後もい

件から大幅に減少したことが報告されま 厳重注意が一四件、 合計八三六件と、

成二十六年度までの過去十年間で、最も 少ない数値となり、 保護指導件数は、平成十七年度から平 各地区における指導

警察本部、 野自然環境事務所長をはじめ、 等保護対策協議会」の総会を、 岳・観光関係団体、 一十五名の出席のもと開催しました。 教育委員会等の行政機関、 五地区協議会長等計 環境省長 長野県、 山

に寄与することを目的とし活動していま 内の美化を図り、 民有林における高山植物等の保護と地域 和三十七年から長野県内の国有林並びに 「高山植物等保護対策協議会」は、 将来に亘り国民の福祉 昭



総会の様子

事業活動報告では、 注意指導が八二二 登山者等に対する 前年の一、三五九

> 員など関係者による継続的で地道なパト ール活動の成果といえます

施するなどの事項が、 気象情報等の最新情報を把握した上で実 物パトロールの際は、 山の日月間」七月十五日から八月十四 (一ヶ月) 平成二十七年度事業計画では、 中のパトロール強化や高山: 総会で承認されま 火山情報も含めた

ら「国立公園内における野生生物の保護 中部森林管理局から「中部森林管理局に 様性に向けた産学官民の連携について」、 管理等について」、長野県から「生物多 されました。 おける森林鳥獣被害対策の取組」が報告 介があり、環境省長野自然環境事務所か また、行政機関の取り組みについて紹

# 各地からのたより

## 合同現場説明会の開催

が経過することから、 南木曽町梨子沢での土石流災害から一年 合同で現場説明会を開催しました。 [**南木曽支署**]昨年七月九日に発生した 町 県、 国交省と

の担当者が参加しました。 七日には地元住民約五十名と関係市町村 七月一日には報道機関十二社が、

事の概要や進捗状況等を説明しました。 一番に回りそれぞれ現場毎に担当者が工 両日とも各機関が発注した工事現場を 早く工事を完成させてほしい。」などの とがわかった。」「安心できるよう一日も た。」「大変な現場で工事を進めているこ 様子を見て、「土石流の凄まじさに驚い

感想等があり、

今回の現場説明会で、土



### 解を深めていただくことができました。 工事を担当する四者では、 復旧工事の重要性について一層の理

### 連携して取り組むこととしています。 速やかな工事の完成に向け、 皆さんに早く安心していただけるよう、

### 元団体代表者による |石流災害復旧工事現場視察

を視察しました。 名が当支署管内大梨子沢の治山工事現場 長、議長をはじめ地元の各団体代表者六 [南木曽支署] 七月十五日、南木曽町

スコミ等を案内しましたが、当支署の工 り、過日、災害発生から一年になる前に 災害の復旧工事については、現在、 合同現場説明会を開催し、地元住民やマ 昨年七月に発生した南木曽町土石流 国交省と当支署が連携して進めてお 町

業道終点付近から遠望により説明しま 峻な場所で現場まで行けないため、 の二箇所でしたが、どちらも最上部の急

当支署の現場は、大梨子沢と小梨子沢

した。支署職員から、工事の概要に加

え、重機のヘリコプター運搬や資材のモ

ノレール運搬、さらには高圧ポンプ車に

る現場において懸命に進められる工事の

参加者からは、今も土石流の痕跡が残

改めて地元住民の皆さんの関心の高さを

皆さん真剣な表情で聞き入っており

条件での工事の状況について説明しまし

よる生コンの長距離打設など厳しい作業

治山工事現場の視察

聞かれました。 りました。また、軽量残存型枠による工 知っている方が多いためか非常に関心が り、参加者の中には過去の土石流災害を はの工夫した作業の説明に関心する声も 法や高圧ポンプ車による生コンの長距離 流はどうなっているのか」など質問があ 高く、「他の沢は安全なのか」「さらに上 現場には今も土石流の痕跡が残ってお

を見ることができ有意義な視察だった。\_ 現場で早期復旧に向け工夫しながら懸命 など感想があり、 一普段目にすることがない国有林の現場 に取り組んでいることがよくわかった。 視察後の意見交換では、 厳しい現場での工事や 「大変厳しい 者を当支署の工事現場へ案内しました。 業道等もないことから遠望による説明と 事現場は、最上部の急峻な場所にあり作 国有林の取組内容を情報発信できないか なったため、 今回南木曽町内にある各団体の代表 なんとか地元の皆さんに

地元住民の

関係機関が

石流の恐ろしさや現場の厳しさ、さらに

について説明を行い、ヘリコプターによ ら、災害発生当時の様子や災害後の現地 内に移動しました。工事現場では職員か らモノレールで約三〇分かけて国有林 子を視察しました。 る資材搬入や重機での土砂の掘削・運 調査結果、復旧工事の計画と進捗状況等 現場を車で通過し、仮設の作業道終点か 今回の現場視察では、他の機関の工事 急斜面での落石防護網設置作業の様

(七○○スス超)などこの現場ならで



視察後の意見交換

深めていただけたものと感じました。 国有林の取り組みについて一層の理解を

とのつながりが深いため、今後もあらゆ 高く、かつ、各種行事への参加など地元 発信等に取り組むこととしています。 る機会を捉え、効率的かつ効果的な情報 めており、国有林への地元からの期待は 当支署は区域面積の七割を国有林が占

### 北ノ俣岳にて

# 「近自然型登山道工法」を実践

標高二、六六一ばの北ノ俣岳。 **[飛騨署]**北アルプスの一角にそびえる

県を結ぶ飛越トンネルが開通したのにあ 岳登山道整備が行われました。 せて作られたもので、ミズバショウの この登山道は平成七年に岐阜県と富山 と延びる登山道の飛越新道にて北ノ俣 七月六日から九日にかけて、 この名峰

群生地や美しい池塘の合間を通り、

道等維持連絡協議会を中心として、 られることから、北アルプス飛騨側登山 もえぐられたり、足を取られるほどのぬ かるみができたりといった現状が見受け ための準備をしてきました。 森林管理署が協力して登山道を整備する しめるとして人気を博しています。 に営業小屋がないために静かな山行が楽 方で踏圧や流水によって登山道が一片 環境省平湯自然保護官事務所、

査してきた岡崎さんにしてみても、これ 道から小笠原まで日本各地の登山道を調 とに抽出して記録していきました。北海 ほど激しく損傷を受けているのは目にし 北ノ俣岳山頂にかけて、講師として来て んが損傷の激しい場所をそのパターンご いただいた北海道山岳整備の岡崎哲三さ 登山道調査を実施しました。登山口から 七月六日から七日に一泊二日の行程で



登山道荒廃調査

合わせて二十七名が参加し、

雨に打たれ

て急登を一時間半も登った疲れにも負け

係の業者、

地元の有志、当署の職員など

とのことで、今後の活用も期待されま は登山道の多くの箇所で応用できる工法

長い区間で激しく浸食を受けている

登山道工法」を実践しました。この工法 ず倒木や石などを活用しての「近自然型

登山道は単年度の施工での修復は難しい



「近自然型登山道工法」

#### を実践

いを学んだ後、 伐倒作業で最も災害の多

アルプスにおける登山道管理の難しさを

たことがないとのことで、

積雪が多い北

痛感させられました。

最終日の七月九日には、

土木・林業関



伐倒作業を学ぶ「労働基準監督官」

### 長野・ 監督官実地研修受け入れ 愛知労働局新任労働基準

あり、七月十六日、 現地を勉強させてほしいとの協力依頼が 労働基準監督官の実地訓練として林業の **[木曽署**] 長野・愛知労働局から新任の 十四名の研修生を受

入っていました。

実演を行い、新任監督官は、

真剣に見

てかかっている木を回転させながら外す

かり木の状態をつくり、

ロープを使用し

「かかり木処理」について、

実際にか

きました。伐倒方法やチェンソーの取扱 チェンソーによる伐倒作業を見ていただ 裾野にある新高国有林に場所を移して、 るそばを食べながら懇談し、御嶽山の 法等について多くの質問がありました。 新任監督官からは、架線の内角や集材方 製品生産請負事業現場において、 安全規則等について説明を行いました。 推進)、北沢主任森林整備官から構造や る造材作業を見学し、松島企画官 材装置での集材作業やプロセッサーによ その後、昼食では開田高原の名物であ 最初に木曽町開田高原の末川国有林の 機械集 (間伐

> 林退会坂下支部」による 国有林見学会を実施

の研修を思い出していただけたら幸いで

と感想をいただきました。

今後、労働基準監督官として全国で活

林業の現場におかれては、

今回

義な研修となり我々も大変勉強になった

質問があり、引率の課長からは大変有意

ーを触りながら、

安全に関する活発な

最後の質疑応答では、

実際にチェン

されたことがきっかけとなり実現したも かけた山を一度みたい」という意見が出 これは、同支部の昨年の総会で「手塩に 退会坂下支部の皆さんが、湯舟沢国有林 のです。 (岐阜県中津川市)を見学されました。 (注) に勤務されていた退職者で作る林 [東濃署] 六月十日、 旧坂下営林署

樹しました。 佐々木総括森林整備官と羽田野神坂首席 地などを見学し、 る列状間伐地や分収育林の伐採後の新植 森林官の案内で、 当日は、 同支部から二十名が参加 同国有林で行われてい 最後にモミジを記念植

参加された皆さんは、自分たちが植付

応えていきたいと考えています。

継続していくことで地元の要請に 今回の取り組みを一過性のものと 担当:森林技術指導官

し育てた山が間伐されるまでに生長した 感慨深げに聞いていました。 による最新の林業技術についての説明を 主伐後に再度造林された状況を 高性能林業機械やコンテナ苗



移動中の車内では「あそこにイ

がら語り合っていました。 道の橋があった」と、昔の面影を探しな ンクラインがあった」「この谷に森林鉄

かけていました。 どの提供をしてほしい」と参加者に呼び どの記録を整理したいので、古い写真な んなが元気なうちに昔の営林署の風景な 同支部事務局の西尾良彦さんは、

の方は、東濃署へ情報をお寄せくださ 旧坂下営林署に関わる写真等をお持ち えていますので、提供していただける 当署としても協力していきたいと考 (電話〇五〇-三一六〇-五六七五

> 森林管理署に再編された。 轄していたが、平成十三年の機構改革に 町と岐阜県中津川市に跨がる国有林を管 よって木曽森林管理署南木曽支署と東濃 注 旧坂下営林署は、長野県南木曽

#### 青く澄みわたった空のもと 佐久地域の小学校を対象に 森林体験学習」を実施

を対象に の御代田南小学校五年生の児童一〇一名 [**東信署**] 七月十日、北佐久郡御代田町 「森林体験学習」を実施しまし

ちなんだゲーム、また、ノコギリ体験や や、 向き、近隣の浅間山国有林内の自然観察 強い日差しが照りつけるキャンプ地に出 まで続いた梅雨空と打って変わって時折 高峰山登山及びキャンプのプログラムの 一つとして依頼を受けたもので、前日 今回の「森林体験学習」は、 現地に生息している植物や生き物に 同学年の



ノコギリを使って輪切りにす

内の国有林において、 の実習を行いました。 シラカバの丸太を利用したクラフト作成 ため、上手に丸太を切ってオリジナルの コギリを手にしたことがある児童も多い 小中学生を対象に例年行っています。 遊々の森」を活用した森林体験学習を、 御代田町は、平成十五年度から当署管 の協定を締結し、 町が主体となって 「御代田町 遊々の

との声が上がる一方で、「今度はチェン 輪切りを作っていました。 いました。 してみたい。」等の声も聞かれ、山の仕 ソーで木を切っているところが見たい。 一山から木材を出しているところを見学 児童からは「もっと木を切りたい。」 森づくりへの興味の一端を覗かせて

## 高瀬渓谷フェスティバル」

署は、信州「山の月間(七月十五日か 紹介された、「高瀬渓谷フェスティバル ら八月十四日)」のイベントガイドでも 一〇一五」に参加しました。 [中信署] 七月十八日、 中信森林管理

親しむことができるもので、中信署は、 丸太切りや小木工品作りのブースを構え ント開催が危ぶまれましたが、幸い天候 太切り体験を通じて、森林や湖を身近に 当日は、台風十一号の通過に伴いイベ このイベントは、ダム内部の見学や丸 国有林のPR活動を行いました。



も回復し、お昼頃には昨年並みに見学者

性的で、世代を超えて楽しんでいただけ 様々でした。仕上がった作品はどれも個 混じりながら奮闘する年配者や、夏休み の宿題用の工作を作成する親子連れなど 中信署のブースは盛況で、お孫さんに



個性的な作品が完成



親子連れなどで賑わう様子

### 137 「市川海老蔵

## ABMORI (エビモリ)いのちを守る森」づくり

植樹に汗を流しました。

「北信署」今年で第二回目となる市川海
「北信署」今年で第二回目となる市川海

加協力しました。 名と当署の四名が植樹リーダーとして参中部森林管理局からは、技術普及課二

ABMORIは、歌舞伎役者の市川海老蔵氏の「森林再生に関わるような活動老蔵氏の「森林再生に関わるような活動を地球環境戦略研究機関国際生態学センター長の宮脇昭氏の指導の下、山ノ内町が全面的にバックアップして志賀高原エネスコパークプロジェクトの一環として昨年から実施しているイベントです。エネスコパークの精神である自然環境や生態系を保護・保全しつつこれらを持め可能な方法で利用することを目的とし、かつて開発が進んだ志賀高原のスキー場跡地を人の手で森林に再生しようと始まったものです。

ここ。 音が参加者を心地よく迎え入れてくれま山ノ内町東小学校児童の「コカリナ」のかり上がり、開会に先立って演奏されたかり上がり、開会に先立って演奏された。

開会式では、同センターの目黒氏から間会式では、同センターの目黒氏からはあった。宮脇先生なら大きな声で樹の名しょう。宮脇先生なら大きな声で樹の名が、「この樹の名前はトーヒ」、「さあ!が、「この樹の名前はトーヒ」、「さあ!ば、「この樹の名前はトーヒ」、「さありましたが、生態学がで復唱させて会場の雰囲気を盛り上げる場面もありました。



会場での植樹状況

## の宝、岩村城跡で

**[東濃署]** 七月二十五日、恵那市岩村町 **[東濃署]** 七月二十五日、恵那市岩村町 「東濃署] 七月二十五日、恵那市岩村町

昨年から参加しています。
に、気持ちよく観光をしていただきたいと、地域の方々が中心となって毎年活動されているもので、東濃署でも、この動されているもので、東濃署でも、この動されているもので、東濃圏でも、この行事は、多くの人が訪れるこの時にから参加しています。

日本三大山城の一つとして数えられ、平高取城、岡山県の備中松山城と並んで、名称の舞台となった岩村城跡は奈良県の全国にその名を知られていますが、その主那市岩村町は「女城主の里」として

十四種類一万本を植樹しました。

り、建物などは解体されたことから現口モミ、ダケカンバ、レンゲツツジなど

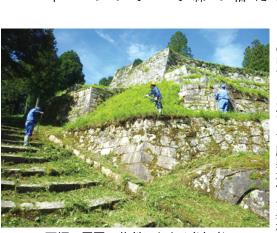
村城のみが選定)明治六年に廃城とし、植樹リーダーに指導されて「ウラジ 定されました。(岐阜県では岐阜城とが二十九班に分かれて植樹会場に移動 た城跡として「日本一○○名城」にもが二十九班に分かれて植樹会場に移動 た城跡として「日本一○○名城」にも武典終了後、一般参加者や地元小学生 成十八年には山城の遺構がよく残る優

かれました。

本学のでは、海光蔵さんと一緒に植物できて大変よい思い出ができた。ま気もおいしく、海光蔵さんと一緒に植気ができて大変よい思い出ができた。ま気もおいしく、海光蔵さんと一緒に植たが、参加者からは「雨に降られず、空

その周囲を囲む岩村国有林は市街地からの眺望が良いことから平成五年にその場重な自然環境を守りつつ、併せて地域の振興に資することを目的として「い域の振興に資することを目的として「い域の振興に資することを目的として「い域の振興に資することを目的として「いった。

さの中でしたが、首席森林官や森林技術当日の天気は快晴で、うだるような暑



-石垣の周囲で草刈りをする参加者 (中央は上矢作治山事業所治山技術官)

共に地元の歴史を学びました。 競った遠山氏の説明がされ、中学生らと 村城を拠点に、武田氏や今川氏と勢力を 作業後の歴史講座では、 戦国時代に岩

として大切にされている国有林の整備と 地元の方々の声を聴きながら地域の宝物 く良い機会となりました。 国有林が担っている役割を知っていただ これからもこうした機会を大切にし、 最後に東濃森林管理署の紹介もされ、

ることができました。

## 御岳自然休養林の遊歩道整備

保全に努めていきたいと考えています。

年かけて整備することとしました。 然公園までは入林ができるようになった が、六月に入山規制が緩和され田ノ原天 伴う入林規制で入林できませんでした なっています。昨年九月の御嶽山噴火に 山登山口に位置し、 において、遊歩道の整備を行いました。 御岳自然休養林は、 御岳自然休養林の遊歩道を一 七月十四日、 田の原天然公園と 王滝村からの御嶽 御岳自然休養林

行い、ボランティア活動として長野林業 土木協会木曽支部、 老朽化した木道の撤去作業を 森林管理署から総勢六十二 同公園の環境を守る

第137号



作業を行う参加者

順調に進み、予定した時間より早く終わ なったりして手を焼くところもありまし 名が参加しました。 たが、慣れた手つきの方も多く、作業は 作業は木道の杭がなかなか抜けなく

葉がありました。 さんを始め、多くの方が訪れるところで は王滝口登山道の玄関口であり、信者 守る会の大家会長より「田ノ原天然公園 のご協力をお願いします。」とお礼の言 力的なものとしたいので、今後も皆さん す。当協議会としても利用者に安全で魅 作業終了後、田の原天然公園の環境を

を実施することとしており、 に訪れていただきたいと思っています。 秋から来年にかけて木道の新設 大勢の方々

### 、隠森林植物園」 オフィシャル サポーター協定を更新

資金や資材を提供する企業・団体です。 管理整備等に参加したり、整備活動用の 国有林野内の「レクリエーションの森 に係わる協議会が行う、環境美化活動や [北信署] オフィシャルサポーターは、

野支部とオフィシャルサポーターの支援 年三月に、戸隠森林植物園保護管理協議 協定を締結して活動を行ってきました。 会が一般財団法人日本森林林業振興会長

「戸隠森林植物園」では、平成二十三

ボランティアとして協力いただいていま 等が行う、鳥の巣箱と木道掃除活動へも 供を受けてきています。 道修理用の資材や、グリーンロープの提 主な支援内容としては、 また、協議会 植物園内の歩



協定締結後の (左) と土田長野支部長

業振興会長野支部から資材提供等の協力 シャルサポーター側の経営環境も厳しく ポーターである一般財団法人日本森林林 調印となり、今後二年間オフィシャルサ き、六月二十九日に、支援協定書に双方 て協定期間更新について快諾をいただ 方々のお役に立てれば」との思いも込め なってきていることから協定更新につい て懸念もされましたが、「戸隠を訪れる 今回の協定更新にあたっては、 オフィ 極意会長

> 支援で感謝する。 植物園保護管理協議会会長の極意憲雄さ 補修用として活用し、 メントしています。 のお役に立つようにしていきたい」とコ んは「今回の協定更新は大変ありがたい 提供された資材を歩道 戸隠を訪れる方々

と連携し、 観光地であることから、魅力あるレクリ エーションの森を目指して協定者双方 当署としましても、戸隠は人気のある 活動していくこととしていま

### シリーズ 「森林官からの便り

### 東信署 青木森林事務所

の上田市(旧丸子町・旧武石村を含む) 県郡青木村に所在し、千曲川川西地域 一七〇鈴の官行造林地を管轄していま ・青木村の約六、二四五鈴の国有林と約 青木森林事務所は、長野県東部の小 森林官 畠山

に涼を求めて多くの観光客が訪れていま 場に牛が放牧される風景は、 二、〇三四
は)が平坦な地形を作り出し、 日本百名山の一つである王ヶ頭 の一つとして知られており、 五月から十月までの間、 管内の焼山国有林には、美ヶ原高原に 周辺の美ヶ原牧 夏場を中心 信州風物詩

とから、 また、長野県のほぼ中央に位置するこ 長野県内のテレビ・ ラジオ放

をいただくこととなりました。戸隠森林



県防災行政無線等の中継所、中部電力の 通信用マイクロ波中継所等の重要な各種 送局送信所や国土交通省・NTT・長野 電波塔が設置されています。



や塩田平を眼下に見下ろします。元々、 には、遠く北アルプスの峰や浅間山、 三六○度のパノラマが最高で、晴れた日 スられ信州<br />
百名山です。 岳信仰された山で、 縄山 美ヶ原電波塔がそびえ、上田盆地 三国有林にある子檀嶺岳 青木三山の一つに数 山頂には社が祀ら 山頂から見渡す (標高 蓼

> をお運びください。 れています。林道終点の登山道入口から 二十分程度で山頂に着きます。 是非、 足

り、 年に建立され、 わず振り返るという意味から名付けられ 返りの塔」と呼ばれ、その美しさから思 たといわれています。建物は一、三三三 村内にある大法寺三重塔は、 昭和二十八年国宝に指定されまし 高さは一八・五六がもあ 別名 見

実験林が一九七二年に設定され、樹齢 本山国有林にはヒノキ人工林天然更新 寺風景林として指定されています。奈良 査に入っています。 ○○年の通直なヒノキ人工林が広が 周辺に位置する一一八五林班が、 現在も大学研究機関等の関係者が調 更新試験地等のプロットが設けら

ŋ 幹線道路の三才山トンネル有料道路が走 西内国有林内には、長野県東西を結ぶ 一日平均六、九四三台(平成二十六



子檀嶺岳から見下ろす塩田平

設置された内村ダム周辺も国有林であ 上田市丸子地域に上水道供給等を目的に き続き計画しています。降水量の少ない 未然に防ぐための治山工事を今年度も引 地域の水源林にもなっています。 の通行量があり、周辺では災害を

に対し、松食い虫防除地上散布や被害木 地であり、年々、 務を遂行していきたいと考えています。 林事務所皆様の力をお借りしながら、業 に努めています。引き続き、署や隣接森 林野パトロールを通じて生息状況の把握 ホンジカによる被害も深刻化しており、 伐倒燻蒸処理事業を実施するとともにこ 当事務所は長野県内でも有数の松茸産 増加する松食い虫被害

#### の う き

#### 林野庁人事 抄

▽関東森林管理局総務企画部専門官(契 ▽中部森林管理局森林整備部企画官(木 ▽中部森林管理局計画保全部流域管理指 ▽中部森林管理局総務企画部企画調整課 導官 監査官 材需給対策)(局計画保全部流域管理 約適正化担当)(局総務企画部企画調 整課監査官 (木材需給対策) (局富山森林管理署次長) (経常) (局森林整備部企画官 今井道博 廣

> 中部森林管理局富山森林管理署次長 (局総務企画部総務課企画官 田村英雄 (安全衛

官 中部森林管理局総務企画部総務課企画 (安全衛生) (局木曽森林管理署次 木村敏宏

中部森林管理局木曽森林管理署次長 (局森林整備部森林整備課課長補佐)

## 中部森林管理局人事

孝

>林野庁出向 (木曽署次長) (森林整備 八月一日付

森林整備部森林整備課課長補佐 課課長補佐 孝

木曽森林管理署総括森林整備官 (木曽署総括森林整備官) 櫻井 務

計画保全部計画課計画調整官

(計画課計画調整官)

三井

正

飛騨森林管理署行政専門員 方森林事務所行政専門員) (計画課付) (飛騨署町 菅野耕治 髙麗泰行

八月一日付



))防災訓練

9月1日 中部局

◎国有林モニター会議現地見学

9月10日 「木曽悠久の森」写真コンテスト表彰 木曽署管内

9月19日 木曽町

中信森林管理署

#### 松川村

の緑豊かな大地を作っています。 ルプスを源として流れ下る河川が松川村 な山々がそびえ立っています。その北ア その北西部には、北アルプス連峰の雄大 松川村は、長野県の北西部に位置し、

その麓には田園風景が広がっています。 される村のシンボル「有明山」があり、 館」があります。 この緑と水の溢れる中に「ちひろ美術 村の西側には、信濃(安曇)富士と称

明神社が置かれ、 岳・南岳の三つのピークからなっていま す。山岳信仰の山でもあり、 しまれています。 一百名山の一つで、 有明山 (標高二、二六八以) 古くから地元住民に親 山頂部は、 山麓には有 北岳・中 は、日本

> ▼安曇野市 安曇野市は、

## 安曇野ちひろ美術館

山々があります。

北アルプスを源とする梓川・犀川の西

あり、燕岳・常念岳など海抜三千点級の え立つ中部山岳国立公園の山岳地帯で

絵本画家いわさきちひろの作品ととも 絵本の歴史資料が展示されていま

周囲には、 北アルプスを望む安曇野ち

ています。

る扇状地全体を総括して安曇野と呼ばれ 部から高瀬川流域の最南部にかけて広が 年夏完成予定で整備が進められていま トットちゃん」の電車の教室を再現する りとした時間を過ごすことができます。 ひろ公園 -トットちゃんの広場\_ また、ちひろの絵で愛され、 (松川村営)が広がり、ゆった が、平成二十八 「窓際の



## 有明山

### 【大王わさび農場】

西部は雄大な北アルプス連峰がそび

長野県のほぼ中央に位置

舞台となった場所です。 わさび田です。 一連の水車は黒沢明監督の映画 東京ドーム十一個分もある日本一広い 湧水を湛える蓼川を回る 一夢の

わえます。 わさびソフトクリームとわさびコロッ 色も辛味も自然のままに味

ます。 日本アルプスの総鎮守」の通称があり 本宮のほか松本市安曇の上高地に奥 奥穂高岳山頂に嶺宮があることから

> 選」のひとつに選定され、国土交通省か 超えることがなく、環境省から「名水百

る一大湧水地で真夏でも水温が十五度を

また、安曇野は、日量七十万トンを誇

らは「水の郷」の認定を受けています。

大祭が有名です。 また、毎年九月二十七日に行われる例



穂高神社



わさび田

松川駅下車 安曇野ちひろ美術館:JR大糸線信濃 有明山:JR大糸線信濃松川駅下車 (タクシーで約十五分) (タクシーで約五分)

アクセス方法

[交通機関]

れてみてはいかがでしょうか。

見所が多く、

自然豊かなこの地域を訪

大王わさび農場:JR大糸線穂高駅下 (タクシーで約十分)

歩で約三分

穂高神社:JR大糸線穂高駅下車

徒